平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月24日

上 場 会 社 名　信越ポリマー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7970　　ＵＲＬ　http://www.shinpoly.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　小野義昭
問合せ先責任者　（役職名）経理グループマネジャー（氏名）　平澤秀明　（TEL）　03(5289)3716

四半期報告書提出予定日　平成25年８月９日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	15,767	5.1	230	△12.3	373	18.5	256	－
25年３月期第１四半期	15,003	△8.9	262	△60.1	315	△49.2	21	△92.9

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　2,155百万円（39.6%）　25年３月期第１四半期1,544百万円（23.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	3.16	3.16
25年３月期第１四半期	0.26	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	83,640	64,810	76.3
25年３月期	81,342	63,020	76.4

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　63,854百万円　25年３月期　62,122百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	4.50	－	4.50	9.00
26年３月期	－				
26年３月期(予想)		4.50	－	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

平成26年３月期の配当予想につきましては、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、平成26年３月期の業績予想の算定に伴い、上記のとおり公表いたします。

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	32,000	5.4	700	24.2	800	26.1	400	110.4	4.92
通期	63,000	3.8	1,400	48.3	1,500	16.1	600	185.4	7.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無
新規　　ー社　　（社名）　　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年３月期１Ｑ	82,623,376株	25年３月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	1,338,809株	25年３月期	1,338,639株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年３月期１Ｑ	81,284,607株	25年３月期１Ｑ	81,285,387株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　経営成績に関する説明　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・ 3
２．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 6
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・ 8
(継続企業の前提に関する注記)　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・ 8
(セグメント情報等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復基調への兆しが続いたものの、欧州における財政問題の長期化や新興国経済の成長鈍化により不透明な状況が続きました。一方、日本では新政権の景気回復政策への期待から、円安・株高などが進み、緩やかな景気回復への動きが見られました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車や半導体分野では緩やかな回復にあるものの、デジタル家電市場の低迷が続き、また、電気・ガス、原材料価格の上昇等もあり、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、新製品提案に注力した営業活動を行うとともに、生産面では、固定費の削減や生産効率の向上などに努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は157億67百万円（前年同期比5.1％増）、営業利益は２億30百万円（前年同期比12.3％減）、経常利益は３億73百万円（前年同期比18.5％増）、四半期純利益は２億56百万円（前年同期比２億35百万円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連用途やスマートフォン向け防水製品などの新製品が伸長しましたが、全体として売上げは前年並みとなりました。

入力デバイスは、順調な自動車用キーパッドに加えタッチスイッチが増加しました。ディスプレー関連デバイスは、視野角制御フィルム（ＶＣ−Ｆｉｌｍ）の出荷が減少しました。コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクターやスマートフォン向け防水製品の出荷が増加しました。

この結果、当事業の売上高は37億62百万円（前年同期比0.1％増）、営業損失は32百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、ＯＡ機器用部品が堅調に推移し、また、半導体関連容器も回復の動きがみられました。

半導体関連容器は、半導体業界の生産調整が一巡したことにより、前年を上回る出荷となりました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォンなど携帯機器に搭載される微細部品用の出荷は増加しましたが、売上げは前年並みとなりました。ＯＡ機器用部品は、主要ユーザーの生産に復調傾向があり、また新規製品の受注・出荷が寄与し、順調に推移しました。シリコーンゴム成形品は、電子部品用製品は振るいませんでしたが、メディカル関連製品の海外向け出荷が伸びました。

この結果、当事業の売上高は63億36百万円（前年同期比12.5％増）、営業利益は５億60百万円（前年同期比13.6％増）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、売上げは前年並みでしたが、原材料コストの上昇、価格競争の激化、価格改定の遅れなどが、全体として利益面に影響しました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、出荷は概ね前年並みに推移しました。機能性コンパウンドは、自動車向け新製品の出荷が堅調に推移し、順調に売上げを伸ばしました。塩ビパイプ関連製品は、住宅着工の緩やかな回復により、売上げは前年を上回りました。外装材関連製品は、ホームセンタールートの出荷が低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は44億99百万円（前年同期比0.6％減）、営業損失は１億97百万円（前年同期は55百万円の損失）となりました。

④その他

首都圏における食品スーパーの改装物件及び農業用包装機械など新規の受注があり、その他の売上げは前年を上回りました。

この結果、その他の売上高は11億67百万円（前年同期比7.8％増）、営業損失は55百万円（前年同期は77百万円の損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな改善が続くものと期待されますが、欧州債務問題の長期化や新興国の景気減速が懸念されるなど、依然として不透明な状況にあります。また、国内におきましても、景気回復の動きが見られる一方、円安の進行による原材料価格及びエネルギー価格の高騰が見込まれるなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、市場環境の変化に的確かつ迅速に対応し、成長市場に照準を合わせた新製品開発と販売強化、新規顧客開拓を図るとともに、固定費や生産コストの削減にも引き続き注力することで、業績向上に努めてまいります。

これらを踏まえ、当期の連結業績といたしましては、売上高630億円、営業利益14億円、経常利益15億円、当期純利益６億円を予想しております。また、配当金につきましては、中間、期末共に前期と同額の１株当たり4.50円を予想しております。これにより年間配当予想は前期と同額の１株当たり９円となります。

なお、連結業績及び配当の予想につきましては、本日（平成25年７月24日）別途「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」においても開示しております。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,785	31,296
受取手形及び売掛金	17,910	17,981
商品及び製品	4,670	4,923
仕掛品	1,010	1,026
原材料及び貯蔵品	2,029	2,097
未収入金	1,195	989
繰延税金資産	691	768
その他	629	775
貸倒引当金	△131	△288
流動資産合計	57,792	59,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,115	7,170
機械装置及び運搬具（純額）	5,465	5,602
土地	6,174	6,204
建設仮勘定	622	879
その他（純額）	783	822
有形固定資産合計	20,160	20,679
無形固定資産		
ソフトウエア	628	596
その他	174	163
無形固定資産合計	802	760
投資その他の資産		
投資有価証券	1,215	1,274
繰延税金資産	431	398
その他	940	955
投資その他の資産合計	2,586	2,628
固定資産合計	23,550	24,069
資産合計	81,342	83,640

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,941	13,358
短期借入金	0	4
未払金	400	418
未払法人税等	126	97
未払費用	1,160	1,291
賞与引当金	797	476
役員賞与引当金	－	9
その他	619	910
流動負債合計	16,047	16,565
固定負債		
長期借入金	2	2
退職給付引当金	1,766	1,753
資産除去債務	185	187
その他	320	320
固定負債合計	2,274	2,263
負債合計	18,321	18,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,077	44,968
自己株式	△945	△945
株主資本合計	66,237	66,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159	197
為替換算調整勘定	△4,274	△2,471
その他の包括利益累計額合計	△4,114	△2,273
新株予約権	184	184
少数株主持分	714	772
純資産合計	63,020	64,810
負債純資産合計	81,342	83,640

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	15,003	15,767
売上原価	11,245	11,626
売上総利益	3,758	4,140
販売費及び一般管理費	3,495	3,910
営業利益	262	230
営業外収益		
受取利息	44	50
為替差益	－	73
貸倒引当金戻入額	38	－
その他	21	28
営業外収益合計	104	153
営業外費用		
支払利息	8	9
為替差損	39	－
その他	4	0
営業外費用合計	51	10
経常利益	315	373
特別利益		
固定資産売却益	10	－
特別利益合計	10	－
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	324	369
法人税、住民税及び事業税	158	125
法人税等調整額	146	△6
法人税等合計	304	119
少数株主損益調整前四半期純利益	19	250
少数株主損失（△）	△1	△6
四半期純利益	21	256

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	19	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	37
為替換算調整勘定	1,587	1,867
その他の包括利益合計	1,524	1,905
四半期包括利益	1,544	2,155
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,505	2,097
少数株主に係る四半期包括利益	39	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,759	5,633	4,526	13,920	1,083	15,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,759	5,633	4,526	13,920	1,083	15,003
セグメント利益又は損失（△）	△47	493	△55	390	△77	313

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	390
「その他」の区分の損失	△77
棚卸資産の調整額	△54
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	262

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,762	6,336	4,499	14,599	1,167	15,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,762	6,336	4,499	14,599	1,167	15,767
セグメント利益又は損失（△）	△32	560	△197	330	△55	274

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	330
「その他」の区分の損失	△55
棚卸資産の調整額	△48
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	230